

I 平成 22 年度教育計画

1 領域別研修

1) 看護実践能力の育成

研 修 会 名		目 的	目 標	講 師	開催期日	申込期日	対象・定員	受 講 料	担当
老年看護		・ 高齢者の特徴や疾患についての理解を深め、アセスメントをもとに具体的な援助方法を学ぶ。 ・ 高齢者を支える家族への看護の役割と援助方法を理解する。	1 老年期の特徴（身体的・精神的・社会的）を理解する 2 高齢者特有の疾患・病態生理について学ぶ 3 認知症について基本的知識を理解する 4 高齢者・認知症の人への看護の実際を理解する 5 家族支援の方法について考えることができる	静岡県立大学 看護学部 准教授 野村千文	9 月 21・22 日 （2 日間）	6/1～10	120 名	会 員： 8,000 円※ 会員外：12,000 円※	教 育 委 員 会
摂食・嚥下障害患者の看護		・ 摂食・嚥下のメカニズムとその障害を持つ患者を理解し、看護について学ぶ。	1 摂食・嚥下のしくみとその障害について理解する 2 摂食・嚥下機能の評価方法を学ぶ 3 摂食・嚥下リハビリテーション看護の役割を理解する	聖隷三方原病院 専門・認定看護室 課長 藤森まり子 浜松市リハビリテーション病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 鮎島菜緒	11 月 4・5 日 （2 日間）	8/1～10	80 名	会 員： 8,000 円※ 会員外：12,000 円※	
看護と倫理		・ 看護実践における倫理綱領の意義を理解し、日常業務で直面する倫理的諸問題や倫理的ジレンマへの対応方法について、事例を通して学ぶ。	1 看護倫理の必要性と基本的知識を理解する 2 『看護者の倫理綱領』について理解する 3 事例検討を通して倫理的意思決定の方法を考えることができる	静岡県看護協会 認定看護師教育課程 脳卒中リハビリテーション看護 主任教員 石鍋圭子	11 月 17 日 （1 日）	8/1～10	100 名	会 員：4,000 円※ 会員外：6,000 円※	
糖尿病看護		・ 糖尿病の治療や看護に関する最新の知識とセルフケアに向けた援助の実際を学ぶ。 ・ フットケアが必要な対象を理解し専門的な援助技術を習得する。	糖尿病患者への 1 フットケアの意義を理解する 2 足病変の病態生理・治療を理解する 3 フットケアのための評価方法を学ぶ 4 フットケアの技術を学ぶ 5 事例検討を通してフットケアにおけるセルフケア支援を理解する 6 予防的フットケアを実践するためのチーム及びシステム作りを考えることができる	浜松医科大学医学部附属病院 慢性疾患看護専門看護師 鈴木智津子 他	12 月 6・7・8 日 （3 日間）	9/1～10	糖尿病患者の足病変に対するフットケアに 5 年以上従事している看護師 40 名	会 員：10,000 円※ 会員外：15,000 円※	
看護実践と理論		・ 看護専門職として看護を科学的に探求・検証することの意義を理解し、現場の課題や問題解決の方法を学ぶ。	1 看護実践における理論の必要性を理解する 2 問題解決の手法として活用される理論について学ぶ 3 事例検討を通して理論の活用方法を理解する	静岡赤十字病院 看護係長 三浦智美 看護師 原澤純子	12 月 14・15 日 （2 日間）	9/1～10	80 名	会 員： 8,000 円※ 会員外：12,000 円※	
〈衛星通信研修〉 配信会場 神戸研修センター	一般病棟にいかすがん患者への緩和ケア	・ 緩和ケアとは／主な症状のアセスメントと介入／チーム医療と看護の役割／一般病棟での取り組みの実際		日本看護協会ホームページ 〔研修コース検索〕参照	5 月 14・15 日 （2 日間）	4/1～10	120 名	会 員： 7,000 円 会員外：10,000 円	教 育 研 修 部
	実践にいかすフィジカルアセスメント	・ 看護とフィジカルアセスメント／フィジカルアセスメントの基礎～呼吸器・循環器・脳神経			7 月 9・10 日 （2 日間）	4/1～10			
	終末期医療とこれからの課題ー救急医療から緩和ケアまでー	・ 終末期医療への提言～法律・救急医療・高齢者ケア・緩和ケアの立場から／患者・家族への意思決定への支援／終末期の看取り			9 月 10・11 日 （2 日間）	6/1～10			
	がん基礎知識と看護	・ がん医療の動向／補完代替療法とがん／がんの症状マネジメント／がん患者・家族とのコミュニケーション			11 月 19・20 日 （2 日間）	8/1～10			
	生活をつなぐ退院支援ースムーズな地域連携のためにー	・ 退院支援の現状と課題／退院調整の効果的なシステムづくり／地域連携への取り組み／その人らしさを支える取り組みの実際			H23 年 2 月 4・5 日 （2 日間）	11/1～10			

※ 当日、資料代を徴収することがあります。

2) 組織的役割遂行能力の育成

研 修 会 名		目 的	目 標	講 師	開 催 期 日	申 込 期 日	対 象 ・ 定 員	受 講 料	担 当	
看護管理（基礎編）		・ 効果的な看護サービスを提供するために看護管理の必要性と役割を理解し、実践するための基礎的な知識と技術・態度を学ぶ。	1 看護組織と管理の役割を理解する 2 看護管理者に求められるリーダーシップについて理解する 3 人材育成に必要なコミュニケーションを学ぶ 4 目標管理の基本的な考え方を理解する	元 三木市立三木市民病院 看護部長 多羅尾美智代	7月1・2・3日 （3日間）	4/1～10	経験 4 年以上 7 年未満の者 80 名	会 員：10,000 円※ 会員外：15,000 円※	教 育 委 員 会	
医療安全管理者養成研修		・ 医療安全管理者として必要な基礎的知識・技術・態度を学び、各施設における医療安全管理者としての役割・業務を理解し、医療安全の推進を図る。	1 医療安全の原理・原則を理解する 2 医療安全の動向や制度について理解する 3 医療・看護に関連する法律と責任について学ぶ 4 リスクマネージャーの役割・業務を理解する 5 事故発生時の対応について学ぶ 6 安全文化の醸成についての取り組みを学ぶ 7 職員に向けた医療安全教育の実践を学ぶ 8 事例を通して事故分析・対策・立案の流れの実践を学ぶ	日本看護協会出版会 賠償責任保険制度サービス推進室 室長 平林明美 九州大学大学院 教授 鮎澤純子 中央大学アネス法科大学院 教授 稲葉一人 富士宮市立病院 副看護部長 土橋泰子	7月22・23日 8月3・4・5日 （5日間）	4/1～10	経験 6 年以上 医療安全の 役割を担う者 60 名	会 員：14,000 円※ 会員外：21,000 円※		
感染管理担当者研修		・ 感染管理に必要な基礎的知識や最新の情報を学び、感染管理を推進するために各施設での課題と対応方法について理解する。	1 感染管理者の役割を理解する 2 感染管理者として必要な知識・技術を学ぶ 3 感染対策チームの活動と役割を理解する 4 職場での課題と対策について明らかにできる	県西部浜松医療センター 副院長 矢野邦夫 衛生管理室長 松井泰子	6月9・10日 （2日間）	4/1～10	経験 6 年以上 感染管理の 役割を担う者 60 名	会 員：8,000 円※ 会員外：12,000 円※		
新人看護職員教育担当者研修		・ 新人看護職員臨床研修ガイドラインの内容を理解し、施設の教育体制整備を図る。 ・ 新人看護職員に必要な教育内容や支援方法について学ぶとともに各施設での卒後教育の課題を明確にし、課題達成に向けた方法を見出す。	1 実地指導者と新人看護職員へ指導・支援ができる 2 研修の立案・実施・評価ができる 3 実地指導者と新人看護職員の関係調整ができる	詳細については 別途案内						教 育 研 修 部
新人看護職員実地指導者研修		1 新人看護職員への基本的な技術指導・精神的支援ができる 2 個別プログラム立案・実施・評価ができる								
〈衛星通信研修〉	働き続けられる職場づくり ーいきいきと働くための シフトワークのコツー	・ 働き続けられる職場作り／シフトワーク／を学び、自部署の職場づくりに生かす。		配信会場： 日本看護協会 看護教育研究センター	11月6日 〈1日間〉	8/1～10	120 名	会 員：6,000 円 会員外：9,000 円		
	医療現場を悩ますクレーム・暴力のマネジメント ー看護の質向上につなげるためにー 現場の力をいかす ー魅力的な職場になるためにー	・ 医療におけるクレームと暴力の実態／対人関係スキル／施設での対策と風土作り／看護管理者の役割／を学び、看護者をも護るとともに看護の質向上を図る。 ・ 組織構造と組織文化／組織を活性化する人的資源活用／スタッフの力を引き出すマネジメント／選ばれた職場づくりへの取り組み／を学び自部署の職場づくりに生かす。		配信会場： 日本看護協会 神戸研修センター	12月10・11日 〈2日間〉 8月6・7日 〈2日間〉	9/1～10 5/1～10	120 名	会 員：7,000 円 会員外：10,000 円		

※ 当日、資料代を徴収することがあります。

3) 自己教育・研究能力の育成

研 修 会 名	目 的	目 標	講 師	会 場	開 催 期 日	申 込 期 日	対 象 ・ 定 員	受 講 料	担 当
新入会員研修	・ 看護専門職の職能団体である看護協会加入の意義がわかり、看護協会活動へ積極的に参画する能力を養う。 ・ 臨床現場でのストレス・不安等を克服する能力を養う。	1 職能団体である日本看護協会及び静岡県看護協会・ナースセンター等について理解し、職能団体加入への意味がわかる。 2 看護職人としての自分作りをしていく機会となる	日本産業カウンセラー協会 シニア産業カウンセラー 秋山礼子 県内看護職・協会役員	静岡県看護協会 アクトシティ浜松交流センター 三島市民文化会館 西部（6月決定） 静岡県看護協会	7月6・7日 7月12・13日 9月2・3日 11月 日 12月2・3日	4/1～10 4/1～10 6/1～10 8/1～10 9/1～10	経験 2 年未満 各会場 60 名	会 員 無 料 会員外 3,000 円	教 育 研 修 部
看護を語ろう	・ 施設を超えた同世代の仲間と日々の看護を語り合い自分を見つめなおす機会とする。 ・ 自己の課題を見つけ、新たな目標を持って看護に臨む。	1 施設外の仲間と交流することでリフレッシュできる 2 グループワークの中でそれぞれの看護体験を語り合い、看護への思いを深めることができる 3 自分の果たす役割や課題を見出すことができる	未 定	三島市民文化会館 静岡県看護協会 西部（6月決定）	8月26・27日 10月19・20日 11月 日	5/1～10 7/1～10 8/1～10	経験 3 年以上 6 年未満 各会場 40 名	会 員 8,000 円※ 会員外 12,000 円※	教 育 委 員 会

※ 当日、資料代を徴収することがあります。

3) 自己教育・研究能力の育成

研 修 会 名	目 的	目 標	講 師	開催期日	会 場	申込期日	対象・定員	受 講 料	担当
効果的なプレゼンテーション技法 ー研究発表に焦点をあててー	・ プレゼンテーションの基礎的知識と技術を学び、目的にあったプレゼンテーションの方法を理解する。 ・ 看護研究を発表するためのスキルを学ぶ。	1 プレゼンテーションに必要な基礎的知識を理解する 2 研究目的にそったデータの選択・整理の方法を理解する 3 発表内容を効果的に伝えるための方法を理解する	中部学院大学 情報センター所長 教授 田久浩志	10月23日 (1日)	静岡県看護協会	7/1～10	120 名	会 員：4,000 円※ 会員外：6,000 円※	学 術 研 究 推 進 委 員 会
看護研究基礎コース	・ 看護実践に活かす看護研究の意義や研究に向かう姿勢を理解し、研究のプロセスを学ぶ。 ・ 看護研究に取り組むための基本的知識と研究計画書の作成に必要な知識・方法を理解する。	1 研究の基本的なプロセスと、さまざまな研究のアプローチを知る。 2 文献検索のための図書館とインターネットの利用方法を体験する。 3 文献の読み方の実際を学ぶ。 4 データの取り扱いと統計的手法を体験する。 5 研究計画書の書き方を学び、その発表を体験する。	聖隷クリスファー大学 教授 藤井徹也 准教授 篠崎恵美子	8月18日 8月19日 8月31日	三島市民文化会館 沼津市立看護専門学校 三島市民文化会館	5/1～10	各地区 30 名	会員：10,000 円※ 会員外：15,000 円※	
			静岡県立大学 准教授 白尾久美子 講 師 石村佳代子	8月23日 8月24日 9月18日	静岡県看護協会 静岡県立大学 静岡県看護協会				
			聖隷クリスファー大学 学部長 渡邊順子 准教授 篠崎恵美子	9月2・3・10日	聖隷クリスファー大学				
静岡県看護研究発表会	・ 日ごろの看護実践の場でまとめられた看護研究の成果を発表する場とする。 ・ 県内の看護研究活動を推進し、看護の質の向上をめざす。		特別講演 日本赤十字看護大学 学部長 川嶋みどり	平成23年 1月22日 (1日)	男女共同参画センター あざれあ	12/1～ 10	300 名	会 員：2,500 円 会員外：3,500 円 (抄録集代金)	

※ 当日、資料代を徴収することがあります。

4) 特別企画

研 修 会 名		目 的	講 師	開催期日	申込期日	対象・定員	受講料	担当
認定・専門看護師の活用		認定・専門看護師が徐々に増加する中で、有資格の専門性を生かした活躍ができるよう、本人努力に加えて上司や職場の支援体制作りに役立てる。	杏林大学医学部付属病院 看護部長 福井トシ子	12 月 18 日午後 (半日)	9/1～10	看護管理者 80 名	会 員：2,000 円※ 会員外：3,000 円※	教 育 研 修 部
トピックス (テーマ未定)		医療・看護をとりまく変化・変革の状況下、看護職にとって喫緊の課題に柔軟に対応するために、最新情報の提供と併せて研修を行う。		未定				
〈衛星通信〉	災害医療と看護 ー基礎編ー	災害医療と看護の基礎知識／日本看護協会災害支援ナースについて／災害看護の実際／地域避難所における看護活動の実際／災害時における精神保健活動	配信会場：日本看護協会 神戸研修センター	H23 年 1 月 14・15 日 (2 日間)	10/1～10	120 名	会 員：7,000 円 会員外：10,000 円	
	診療報酬の改定	・ 診療報酬改定の内容を知り、看護管理・経営に活用するための最新情報を提供する。	未定					

※ 当日、資料代を徴収することがあります。

2 資格認定教育

研 修 会 名	目 的	講 師	対象・定員	開催期日	申込期日	受講料	担当
認定看護師教育課程 「脳卒中リハビリテーション看護」	後期高齢者が増加する状況下、脳卒中発症や後遺症による生活障害を抱えて病院・施設・地域で療養生活を送る人々に、専門性の高い自立支援をするためのリーダーとなる認定看護師を育成する。	別途案内			22 年度 募集終了	別途案内	教育 研修 部
「脳卒中リハビリテーション看護」 認定看護師フォローアップ	認定看護師教育機関として、「脳卒中リハビリテーション看護」教育課程の第 1 期生を対し、認定看護師としての活動報告や課題共有の場を作り、主体的活動を継続するための支援研修を行う。	別途案内	静岡県看護協会 認定看護師教育課程第 1 期生	9 月 4 日	対象者に 別途案内	別途案内	
認定看護管理者制度教育課程 「セカンドレベル」	・ 第一線監督・中間管理者に求められる基本的責務遂行に必要な知識・技術・態度の習得をめざす。 ・ 施設理念並び看護部門理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、その達成に向けて、看護管理過程が展開できる能力の拡大をめざす。		受講要件有 30 名	6 月 3 日～ 9 月 30 日 (32 日間)	4/1～12	会 員 150,000 円※ 会員外 225,000 円※	認定看護管理者 教育委員会
認定看護管理者制度教育課程 「サードレベル」	・ 社会が求めるヘルスサービスを提供するために看護の理念を掲げ、その具現化に必要な組織を構築し、運営できる能力の拡大をめざす。 ・ 看護事業を起業し運営にあたって必要な経営管理能力に関する知識・技術・態度の習得をめざす。	教育機関認定後 別途案内					

※ 当日、資料代を徴収することがあります。

3 社会経済福祉関連研修

研 修 会 名	目 的	講 師	開催期日	申込期日	対象・定員	受 講 料
「働きやすい職場づくり」 労働環境に関する講演会	快適な職場環境の実施と労働条件改善を通じて、職場における労働者の安全と健康を確保するための知識を深め、職場に還元する。	社会保険労務士事務所 所長 浅見 浩	11 月 30 日(火)	8/1～9/30	会員・会員外 80 名	無 料
医療・看護安全担当者交流会	医療・看護における安全対策の向上を目的とし、職場で抱えている問題を浮き彫りにし、今後の対策を考える場とする。	神奈川県看護協会 医療安全対策課長 安井はるみ	7 月 4 日（日）	5/1～24	会員・会員外 70 名	

4 訪問看護師養成講習会

研 修 会 名	目 的	講師	開催期日	申込期日	受 講 料	対象・定員	備 考
訪問看護師養成講習会 （訪問看護 e ラーニング）	看護職等が訪問看護事業の実施に必要な知識・技術を習得し質の高い訪問看護が提供できる人材を養成する。	未定	8 月 4 日～ 平成 23 年 1 月 20 日	6/1～30 申込方法別途案内	会 員 29,000 円 会員外 33,000 円	30 名 経験 3 年以上の看護者、訪問看護に従事者、訪問看護を志す者、訪問看護に関心がある者	集合研修内容 ○呼吸リハビリ 未定 ○在宅での栄養指導の実践11/13 ○在宅医療に必要な ME 機器の管理11/13

5 防災対策関連研修

研 修 会 名	目 的	講師	開催期日	申込期日	対象・定員	受 講 料	備 考
災害支援ナース B 研修	災害の中長期の看護に求められる知識を学ぶ。また、災害支援ナースの理解と意識の向上を図り、登録を推進する。		H23 年 2～3 月		地区支部開催 災害支援ナース A 研修 修了者	無 料 資料代 別途徴収	
災害看護研修	看護職として、災害支援活動に関する専門的知識の啓発を図る。		7 月		会員 100 名		
災害支援ナース登録者 フォローアップ研修	災害支援ナースの活動の有効性と知識習得及び自身の自立性を高める。		12 月 4 日		災害支援ナース登録者 300 名		申込時登録番号記載

6 静岡県受託研修

1) 高齢者権利擁護等推進研修								
研 修 会 名	目 的	講師	開催期日	申込期日	対象・定員	受 講 料	会 場	
身体拘束廃止フォーラム	身体拘束が人に及ぼす数々の弊害や実態等について幅広く意識啓発を図るとともに、「身体拘束はやむを得ない」といった固定概念や認識を是正していくための、保健・医療・福祉の分野にかかわる実践者はもとより、介護保険施設等の利用者家族を中心に広く県民に身体拘束廃止の意義を理解し、よりよいケアの実現に向けての取り組みを促進する。	未定	未 定		介護保険施設及び一般病院に勤務する看護・介護職員等施設利用者家族一般県民政関係者 600 名	無 料	グランシップ	
身体拘束廃止推進員養成研修	利用者の権利擁護や身体拘束廃止を施設内部から推進するための指導的役割を担う推進員として、権利擁護や身体拘束廃止に関する姿勢や実践的手法を習得する。	未定	未 定		介護保険施設において、身体拘束廃止の取組みを指導的立場から推進できる職員 60 名		未 定	
身体拘束廃止推進看護実務者研修	利用者の人権と尊厳を尊重した身体拘束廃止に向けての意義を理解し、各施設の現場において医療的な観点から身体拘束廃止の取組みを行うための実践的知識と技術を習得する。	未定	未 定		介護保険施設に勤務する看護職（身体拘束廃止を推進することができる看護主任等の責任者クラス） 90 名		未 定	

2) 看護職員実習指導者等講習会

研 修 会 名	目 的	目 標	講師	対象・定員	受講料	開催期日	申込期日	会場
看護職員実習指導者等講習会	・看護職員の臨床教育の充実に必要な知識・技術・態度を習得し、人間尊重の理念に基づき、主体的に行動できる看護指導者の育成をめざす。	1 看護教育の基本的概念と指導に必要な知識・技術を学ぶ。 2 実習指導の基本と展開方法について学び、効果的な指導方法を理解する。 3 社会の変化に伴う看護の動向を知り、看護教育における実習指導の重要性を認識する。 4 指導者として、自己の課題達成に向けて主体的に行動する。	調整中	実務経験が5年以上の師・助産師・看護師で実習指導担当者、あるいは将来実習指導者と成りうる者 (施設長の推薦が必要) 100 名	無 料 資料代 8,000 円	9 月 7 日～ 11 月 26 日 (40 日間)	6/1～10	静岡県看護協会 男女共同参画センターあざれあ

7 全国看護セミナー（日本看護協会出版会）

研 修 会 名	目 的	講 師	対象・定員	開催期日	会場	申込期日・受講料
せん妄や認知症状を中心とする精神状態に不安を抱えた患者へのケア	・日本看護協会出版会が主催する全国看護職を対象とするセミナーを誘致し県内看護職の学習機会とする。 ・精神状態に不安を抱えた患者についての理解を深め、特にせん妄や認知症状を伴う場合の看護ケアのあり方・方法を学ぶ	滋賀医科大学 臨床看護学講座 （精神） 教授 瀧川 薫	日本看護協会会員 300 名	平成 23 年 2 月 5・6 日	グランシップ	日本看護協会「協会ニュース」参照 申込は日本看護協会出版会へ